



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年11月1日(火) No.12 文責 校長 島田 二郎



充実した秋を過ごしています

今日から11月です。和風月名では『霜月』です。霜が降りる月というのが主な由来のようです。実際、日に日に寒くなってきました。朝晩の冷え込みは寒さが苦手の人にはちょっときつく感じられ始めているかと思います。最低気温が10℃を下回った日もあり、冬が近づいていることを感じます。

太西生は気候に関係なく明るく元気に学校生活を送っています。先日の文化発表会では各学級、見事な歌声を披露してくれました。展示発表では、力作揃いで思わず足を止め、見入ってしまうものばかりでした。日頃の授業では元気よく発表したり、集中してもくもくと問題を解いたり、班の中で積極的に意見交換をして考えを深めたり広げたりしています。落ち着いた雰囲気、集中して授業を受けることができている。委員会活動や部活動においても、目的意識をもって行動することができる生徒が多いです。このように学校は充実しており、まさしく『収穫の秋』を迎えています。植物に例えると、春に出会った種同士が、春から夏にかけてたくさんの活動をきちんと取り組むことによって、芽を出し、成長し、大きな実をつけ、収穫の秋を迎えた、というところでしょうか。

右の2枚の写真は、文化発表会における、ある学級の合唱の様子と、全校生徒による共同制作の作品です。ご覧のとおり、合唱は一生懸命さが伝わってきます。共同制作では、色も種類も異なる個性豊かな太西生が集まり満開の花を咲かせ、太宰府西中学校という花畑をつくっている様子がうかがえます。

このように太宰府西中学校は、充実した秋を過ごしました。

冬から春に向けて

では、これから子ども達はどのように過ごしていくのか？
残りの約半年は次年度に向け新たな挑戦の時期だと考えて

います。そういう意味で、これからの半年間の活動は重要となります。

3年生は、いよいよ入試が目前に迫ってきました。自分のめざす進路を実現するためにも、『3学年』というチームとして授業に今まで以上に集中し、勉強に励む時期です。

2年生は、生徒会活動や部活動等において、学校の中心的役割を担う存在となります。また、中学校生活で最大行事とも言える修学旅行を12月に控えています。無事に修学旅行に行き、見識を深めるとともに、2学年の絆をさらに深めてほしいと思います。

1年生は、中学校生活に十分慣れ、中学校で何をしたらよいかが分かってきました。また、半年後には新入生が入り、先輩となります。そのためにも、これから半年間、中学校生活のどの場面で自分をさらに成長させるか、自分の力を発揮できるようにするか、など中学生としての成長が望まれます。各学年の今後に期待し、学校は支援していきます。

